

2023年10月21日 自然を語る会報告

『沈黙の春』第10章 「空からの一斉爆撃」

2023年10月21日(土) 10:00~12:00

日比谷図書文化館+zoom

参加 17名

担当 赤藤由美子さん



第2次世界対戦終了後、飛行機を使って空から合成薬品をスプレーするということが行われた。特に、マイマイガの駆除、ヒアリを根絶するとの名目で大々的にスプレーが行われた。結果、野山や川は汚染し、牧草やミルクへのDDTの混入、ミツバチのコロニーの崩壊など多くの被害があったが、目的の虫たちの根絶はできなかった。

現代ではどうだろう。戦後、我孫子では飛行機での農薬散布は実際にあったようだ。もちろん今では行われていないが、ドローンで小規模の散布はなされている。日本では近年松枯れ、ナラ枯れが問題になっているが、広範囲の農薬散布はしている様子はない。結果、どうだろう。・長野県の会員からは、松はほとんど枯れて見るも無惨になっているとか。ナラ枯れはまだ発生して間もないので防除途上かもしれないが、どのような手を打っていったら良いのか、暗中模索のようだ。ヒアリも、数年前に日本に入ってきている、代々木公園あたりで発見されて駆除されたというニュースはあったが、その後あまり動勢を聞いていない。

アメリカでのマイマイガは、蚕との交配(蚕を強くする)目的で導入したが、途中でその計画は断念。でもその間に環境中に出てしまったものだという。やはり人が関与しているのだ。また、近年遺伝子組み換えトウモロコシなどが出回っているが、遺伝子組み換えに用いるBt毒素は蚕を殺してしまうとか。だから蚕を飼っている地域では遺伝子組み換え農作物は作らないようにしているようだ。

農薬の件で、ブドウなど果実は農薬を使わないとおいしいものがないという話も出た。どうしたらよいだろう。ただ、我々消費者の側で、農薬に対する概念が薄れているかもしれない、もっと危機感を持てば、農家さんや農協での農薬使用量も変わってくるのではないかと話された。。

その他スズメバチが増えてきた話、蚊に刺される人と刺されない人がいるが何が問題なのかなど、さまざまなことが話題になった。

我々が当面できることとして、野菜を買う時は、見栄えを気にせずを買う。庭の夏みかんやジャムを作っているなどの報告があった。また、今まで庭木の手入れに消毒をしていたが、ここ数年やっていない、でも、木は極めて元気で、消毒してもしなくても変わらなかった、ということも報告された。

(文責 小川)